

第2回 横浜市権太坂コミュニティハウス指定管理者選定委員会議事録

■ 開催概要

1 日時

平成23年8月26日（金） 9時00分～12時00分

2 場所

保土ヶ谷区役所 202会議室

3 出席者

(1) 委員

田中委員長、井上委員、前田委員、三浦委員、宮澤委員

(2) 事務局

日詰、田中、亀井

4 傍聴者

1名

■ 議事内容

1 議事

(1) 定足数の確認について

上記委員5名中、5名全員が出席。

横浜市保土ヶ谷区区民利用施設指定管理者選定委員会要綱第6条第2項の規定を満たしていることから、本委員会は成立となった。

会議はプレゼンテーション等を公開とし、審議を非公開とした。

(2) 応募状況について

4団体から応募があったことについて事務局から説明を実施した。

(3) 応募資格について

各応募団体が応募資格を満たしていることを確認した。

また、応募団体の財務状況について委員から報告があり、意見交換した。

(4) 選定方法について

選定方法について事務局から説明を行った。

(5) 応募団体の面接審査について

9時30分から応募のあった4団体の面接審査を次の順番に行った。

各応募団体からのプレゼンテーションを10分、質疑応答を約10分実施した。

〈面接審査順番〉①一般社団法人 保土ヶ谷区区民利用施設協会、②ニトービスコム 株式会社、③株式会社 日産クリエイティブサービス、④特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

委員からの主な質問及び応募団体からの回答は以下のとおり。

・防災への取組について

→防災マニュアルを常備しているので、スタッフに徹底させています。避難訓練については、本部で年1回、各施設で年2回防災訓練を実施しています。（一

般社団法人 保土ヶ谷区区民利用施設協会)

→スリッパに履き替えて入館し、館内は出入り口が入り組んでいるので、災害時は逃げるのが困難な状況です。そこで、火と煙を出さないことを第一に考え、万一災害が発生した場合は、お客様の避難を優先しすばやく出口へ誘導できる体制をとります。(株式会社 日産クリエイティブサービス)

→出入り口が一箇所なので、地域活動室に踏み台を置いて窓からも避難できるようにします。また、利用者と一緒に避難訓練を行い、いざというときに備えます。(特定非営利活動法人 ワーカーズコープ)

・地域ニーズを把握するための具体的な方法について

→地域ニーズは利用者ニーズと重なる部分もあるので、まず利用者に意見を伺います。重ならない部分については、館長が地域行事に参加して地域の方から意見をお伺いしたり、運営委員会の場で委員の方の意見をお伺いし、地域ニーズを把握します。(一般社団法人 保土ヶ谷区区民利用施設協会)

→利用者からのアンケートにより利用者ニーズを把握し、来館しない方のニーズは自治会を通じてニーズの把握に努めます。(株式会社 日産クリエイティブサービス)

→利用サークル別に会合を開いて、各サークルのニーズを把握します。また、自治会長宅を訪問し、コミュニティハウスの活動を紹介しながら今後の活動について意見をお伺いしニーズを把握します。(特定非営利活動法人 ワーカーズコープ)

・スタッフの研修について

→接遇・防災・個人情報保護等について、未経験者・経験者問わず行う予定です。(ニットービスコム 株式会社)

・トヨタグループの「カイゼン」方式はコミュニティハウスの管理運営にどのように生かせるのか。

→電気、水道使用、廃棄物を削減できます。(ニットービスコム 株式会社)

2 審議結果について

委員による意見交換及び各応募団体を評価した評価シートを集計した。

集計結果に基づき、全員一致で評点順に指定候補者と次点候補者を決定することとした。

評価の集計結果は次のとおり。

- ① 1位団体(指定候補者) : 特定非営利活動法人 ワーカーズコープ(評点 546点)
- ② 2位団体(次点候補者) : 一般社団法人 保土ヶ谷区区民利用施設協会(評点 494点)
- ③ 3位団体 : ニットービスコム 株式会社(評点 449点)
- ④ 4位団体 : 株式会社 日産クリエイティブサービス(評点 439点)